

公 表 日

令和 元年 10 月 7 日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元・2年度 白川水系土砂動態調査検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 元年 10 月 7 日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	24,992,000円 (税込み)
予 定 価 格	24,992,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	白川
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	令和 元年 10 月 8 日
履行期間 (至)	令和 2年 12月 27日
備考	入札情報サービス (P P I) ( <a href="http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx">http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx</a> ) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

## 契約理由書

1. 業務件名 令和元・2年度 白川水系土砂動態調査検討業務
2. 履行場所 白川
3. 契約の相手方 住所：福岡県福岡市中央区大名2-4-12  
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社  
電話：(092) 714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

### 5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

#### 1) 当該業務の目的

本業務は、平成28年熊本地震の影響等による上流域での供給土砂量の増大に伴って下流河道域で堆積土砂が顕在化している状況を鑑み、既検討による河床変動予測や各種の土砂動態調査観測結果を踏まえ、長期的にみた白川における現状の土砂供給レベルを評価したうえで、土砂移動が及ぼす河床変動や影響等について検討を行い、今後の適切な河道管理・河川整備の基礎資料とするものである。

#### 2) 業務の内容

1. 計画準備 …… 1式
2. 資料収集整理 …… 1式
3. 河床材料調査 …… 1式
4. 土砂動態モニタリング …… 1式
5. 土砂供給量の時代変化の把握と土砂供給レベルの現状評価 …… 1式
6. 河床変動計算による土砂供給レベルの現状評価 …… 1式
7. 今後の河川整備に向けた検討 …… 1式
8. 河川管理 CIM の更新、構築 …… 1式
9. 報告書作成 …… 1式

#### 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を21者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が1者から提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「その他」における有益な代替案、重要事項として精度向上に向けた計測手法が記載されていること、及び特定テーマの「白川流域の特徴と課題を踏まえた、河川整備基本方針並びに河川整備計画で定める目標達成のための将来河道設計にあたっての着眼点」に対する技術提案について本業務を遂行するにあたっての与条件との整合性、着眼点、問題点、解決方法等について、総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長